

## 2005 年度 工学部デザイン工学科 A コース (意匠) 授業科目一覧表

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF001001	図学演習	2.0	1 年前期月曜 3 限	渡邊 誠他	意匠 3
TF201001	デザイン実習 I	1.5	1 年前期月曜 4 限後半 1 年前期月曜 5 限	青木 弘行他	意匠 4
TF204001	デザイン論 I	2.0	1 年前期火曜 2 限	宮崎 清	意匠 5
TF202001	デザイン造形実習 I	1.5	1 年前期火曜 3 限 1 年前期火曜 4 限前半	瀧 徹他	意匠 6
TY016001	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	宮崎 清	意匠 7
TY016003	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	玉垣 庸一	意匠 9
TY016004	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	福川 裕一	意匠 10
TY016005	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	釜池 光夫他	意匠 12
TY016006	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	瀧 徹	意匠 13
TY016007	造形演習	2.0	1 年前期火曜 5 限	中山 茂樹	意匠 15
TF206001	デザイン造形実習 II	1.5	1 年前期水曜 3 限 1 年前期水曜 4 限前半	堀田 明博他	意匠 16
TF206003	デザイン造形実習 II	1.5	1 年前期集中	堀田 明博他	意匠 17
TF208001	デザイン論 II	2.0	1 年後期火曜 2 限	杉山 和雄他	意匠 18
TF203001	デザイン表示実習 I	1.5	1 年後期火曜 3 限 1 年後期火曜 4 限前半	渡邊 誠他	意匠 19
TF205001	デザイン実習 II	1.5	1 年後期火曜 4 限後半 1 年後期火曜 5 限	佐藤 公信他	意匠 20
TF002002	デザイン工学セミナー (意匠系)	2.0	1 年後期水曜 1 限	デ工 (意匠系) 各教官	意匠 21
TF210001	デザイン科学 I	2.0	1 年後期水曜 3 限	堀田 明博他	意匠 21
TF207001	デザイン表示実習 II	1.5	1 年後期金曜 3 限 1 年後期金曜 4 限前半	渡邊 誠他	意匠 22
TF209001	デジタルデザイン実習 I	1.5	1 年後期金曜 4 限後半 1 年後期金曜 5 限	佐藤 公信他	意匠 23
TF212001	デザイン科学 II	2.0	2 年前期月曜 2 限	勝浦 哲夫他	意匠 24
TF215001	トランスポーテーションデザイン I	3.0	2 年前期月曜 4 限後半 2 年前期月曜 5 限	青木 護他	意匠 25
TF211001	デザイン論 III	2.0	2 年前期火曜 3 限	宮崎 紀郎他	意匠 26
TF216001	環境デザイン I	3.0	2 年前期火曜 4 限後半 2 年前期火曜 5 限	(藤本 香) 他	意匠 27
TF218001	形の工学	2.0	2 年前期水曜 1 限	久保 光徳	意匠 28
TF217001	メディアデザイン I	3.0	2 年前期水曜 4 限後半 2 年前期水曜 5 限	玉垣 庸一他	意匠 29
TF214001	工業デザイン I	3.0	2 年前期木曜 4 限後半 2 年前期木曜 5 限	(久米 寿明)	意匠 30
TF213001	デジタルデザイン実習 II	1.5	2 年前期金曜 3 限 2 年前期金曜 4 限前半	佐藤 公信他	意匠 31
TF225001	デザイン文化論	2.0	2 年後期月曜 2 限	宮崎 清	意匠 32
TF221001	環境デザイン II	3.0	2 年後期月曜 4 限後半 2 年後期月曜 5 限	佐藤 公信	意匠 33
TF220001	トランスポーテーションデザイン II	3.0	2 年後期火曜 3 限 2 年後期火曜 4 限前半	釜池 光夫	意匠 33
TF223001	ヒューマンインタフェース論	2.0	2 年後期水曜 2 限	岩永 光一	意匠 34
TF224001	デザイン材料	2.0	2 年後期水曜 3 限	青木 弘行他	意匠 35

## 2005 年度 工学部デザイン工学科 A コース (意匠) シラバス

授業コード	授業科目名	単位数	開講時限等	担当教員	頁
TF222001	メディアデザイン II	3.0	2 年後期水曜 4 限後半 2 年後期水曜 5 限	宮崎 紀郎 <sup>他</sup>	意匠 36
TF219001	工業デザイン II	3.0	2 年後期木曜 4 限後半 2 年後期木曜 5 限	渡邊 誠 <sup>他</sup>	意匠 37

授業科目名： 図学演習  
 科目英訳名： Descriptive Geometry (Lec & Lab)  
 担当教官： 渡邊 誠, 田内 隆利, 小野 健太, 八馬 智  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： TF001001

開講時限等： 1 年前期月曜 3 限  
 講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF4:デザイン A 建築						専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)					
TK2:先進フロン ティア	専門基礎必修 (E10)						

## [授業の方法]

[目的・目標] 物品および空間を把握し、操作、表示する能力を涵養し、デザインの思考展開および伝達手段として必要な基礎的図法の理論の学習と演習を行う。具体的な目標は第三角法平行投影図法および JIS 製図法の理解および実践的な運用を可能にする能力を収得することとする。

## [授業計画・授業内容]

1. 第三角法平行投影図法および JIS 製図法に関するイントロダクション
2. 第三角法平行投影図法：投影法、直線、直線と平面の関係を演習を通して理解する
3. 第三角法平行投影図法：平面と平面の関係を演習を通して理解する
4. 第三角法平行投影図法：切断を演習を通して理解する
5. 第三角法平行投影図法：相関体を演習を通して理解する
6. 第三角法平行投影図法：展開を演習を通して理解する
7. 第三角法平行投影図法：軸測投影を演習を通して理解する
8. 第三角法平行投影図法に関する試験：前回までに行った内容に関する試験を行う
9. JIS 製図法：寸法、R、材質などの JIS 規格による製図の基本的な表記方法を解説する。
10. JIS 製図法：簡単な道具を実測し姿図を作成する。実測法の実習。
11. JIS 製図法：断面図 1：簡単な製品の断面図を作成する
12. JIS 製図法：断面図 2：曲面を有する製品の断面図を作成する
13. JIS 製図法：構造図 1：複雑な製品の内部構造を含めた作図を行う
14. JIS 製図法：構造図 2：複雑な製品の内部構造を含めた作図を行う
15. JIS 製図法：講評：提出された課題をもとに講評を行う

[キーワード] 第三角法図学、JIS 製図法

[教科書・参考書] ガイダンスにて紹介

[評価方法・基準] テストおよび課題提出

授業科目名： デザイン実習 I

科目英訳名： Design practice I

担当教官： 青木 弘行, 岩永 光一, 久保 光徳, 寺内 文雄, 下村 義弘

単位数： 1.5 単位

開講時限等： 1 年前期月曜 4 限後半 / 1 年前期月曜 5 限

授業コード： TF201001, TF201002

講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

## [授業の方法] 講義・実習

[授業概要] 人工物デザインでは、基盤となる科学的理解と応用としての実践的理解が求められる。本授業科目では、デザインの科学的方法に関する基礎的な講義および実習と、それに対応したデザインの実践に関する基礎的な実習を行う。授業では、人体計測とプロダクトデザイン、材料計画とプロダクトデザイン、色彩科学とグラフィックデザインの 3 課題を、各々 5 週間ずつ設ける。

[目的・目標] 人工物デザインの基盤としての科学的方法の役割と、それが実際のデザインにおいてどのように反映されるかについての基礎的な理解を求める。

## [授業計画・授業内容]

1. 人体計測とプロダクトデザイン：人体計測実習（1）
2. 人体計測とプロダクトデザイン：人体計測実習（2）
3. 人体計測とプロダクトデザイン：人体計測実習（3）
4. 人体計測とプロダクトデザイン：プロダクトデザイン実習（1）
5. 人体計測とプロダクトデザイン：プロダクトデザイン実習（2）
6. 材料計画とプロダクトデザイン：材料計画実習（1）
7. 材料計画とプロダクトデザイン：材料計画実習（2）
8. 材料計画とプロダクトデザイン：材料計画実習（3）
9. 材料計画とプロダクトデザイン：プロダクトデザイン実習（1）
10. 材料計画とプロダクトデザイン：プロダクトデザイン実習（2）
11. 色彩科学とグラフィックデザイン：色彩科学実習（1）
12. 色彩科学とグラフィックデザイン：色彩科学実習（2）
13. 色彩科学とグラフィックデザイン：色彩科学実習（3）
14. 色彩科学とグラフィックデザイン：グラフィックデザイン実習（1）
15. 色彩科学とグラフィックデザイン：グラフィックデザイン実習（2）

[キーワード] 人体計測、材料計画、色彩科学、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン

[教科書・参考書] 授業時に必要に応じて指示する。

[評価方法・基準] レポートおよびデザイン成果によって評価する。出席回数と出席態度も加味する。

授業科目名：デザイン論 I	
科目英訳名：Theory of design I	
担当教官：宮崎 清	
単位数：2.0 単位	開講時限等：1 年前期火曜 2 限
授業コード：TF204001	講義室：工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

## [授業の方法] 講義

[授業概要] デザイン工学科意匠系におけるデザイン教育の視点、デザインの役割、我が国のデザインの特性、近代デザインの歴史等について論述する。

[目的・目標] デザインの社会的使命、目的、デザインにおける用と美、伝統工芸、循環型社会のデザイン、デザインの歴史等について理解することを目的とする。

## [授業計画・授業内容]

1. デザインを学ぶということ、デザイン工学科の歩み
2. 用と美、その統合としてのデザイン
3. 時間・空間のデザイン / 日本の美の普遍性
4. 伝統的工芸とデザイン / 日本のアイデンティティ
5. 循環型社会のデザイン
6. デザインと地域政策
7. 文化としてのデザイン
8. デザインの歴史を学ぶということ
9. 機械化時代の到来と生活の芸術化
10. グラスゴー派、Art Nouveau、ユーゲントシュティル、ウィーン分離派
11. ベーレンスと AEG、D.W.B. (工業化と規格化)
12. Bauhaus I
13. Bauhaus II
14. 日本におけるデザインの歴史
15. 最終試験

[キーワード] デザイン，用と美，伝統工芸，循環型社会，デザイン史

[教科書・参考書] 授業開始時に指示する

[評価方法・基準] 出席（毎回出席をチェックする）：30 %、レポート課題：30 %、試験：40 %

[関連科目] デザイン論 II、デザイン論 III、デザイン科学 I、デザイン科学 II

[履修要件] 必修

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「デザインの歴史」の読み替え科目である。

授業科目名：デザイン造形実習 I

科目英訳名：Practicum in design fundamentals I

担当教官：瀧 徹, 玉垣 庸一, 桐谷 佳恵, 田内 隆利, (清原 明生)

単位数：1.5 単位

開講時限等：1 年前期火曜 3 限 / 1 年前期火曜 4 限前半

授業コード：TF202001, TF202002

講義室：工 2-アトリエ (2-601)

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)					
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)						

[授業の方法] 実習

[受入人数] 80 人

[受講対象] デザイン工学科意匠系 1 年生

[授業概要] 対象物の形態、材質感、動き等の特性を正確に描写し、また、色彩で対象物を構成する実習を行う。

[目的・目標] デザインにおける平面造形力の基礎となる対象物の特性等の理解とその描写力を身につけることを目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. 授業の説明、鉛筆による明暗グラデーションとそれによる平面構成
2. 球 (石膏) デッサン
3. 同上
4. 静物 (ガラスコップ、ビール瓶、ボルトナット等) デッサン
5. 同上
6. 同上
7. 人体クロッキー
8. 同上
9. 同上
10. 静物 (玉葱) 着彩写生
11. 同上
12. 静物 (玉葱) 平面構成
13. 同上
14. 同上
15. 講評

[キーワード] デッサン、平面構成、色、形、クロッキー

[評価方法・基準] 各課題の提出の有無及び課題目的への達成度

[関連科目] 「デザイン造形実習 II」

[履修要件] 必修

[備考] 実習場所の関係で、受講学生を 2 分し、デザイン造形実習 I と デザイン造形実習 II の課題を前期、後期に交替で行う。前期は学籍番号 1~40 の学生が受講すること。「デザイン造形実習 I」と「デザイン造形実習 II」を併せて平成 16 年度までに開講されていた「基礎造形演習」の読み替え科目になる。

授業科目名：造形演習  
 科目英訳名：Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官：宮崎 清  
 単位数：2.0 単位  
 授業コード：TY016001

開講時限等：1 年前期火曜 5 限  
 講義室：工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度 1997 年	
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年			
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)									
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気電子系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TI:物質 A			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 化学物質化学			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 機能物質機能			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					
TI3:物質 A 物性物質物性			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)						
TJ1:都市環境 環境				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TK2:先進フロントティア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択 (E30)								
TL:メディカルシステム A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TM:共生応用化 A	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM1:共生応用化 A 生体関連コース 生体関連	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM2:共生応用化 A 応用化学コース 応用化学	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM3:共生応用化 A 環境調和コース 環境調和	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									

[授業の方法] 演習

[授業概要] 「工学」とは「ものづくり」であり、「ものづくり」とは「造形」である。「造形演習」は、いくつかの「造形」に関する課題を通して、「工学 = ものづくり」に対する関心を鼓舞し、学生のひとりひとりが有する造形の資質を覚醒する。

[目的・目標] 本演習の具体的な目的は、以下のようである。(1)「学び取る」姿勢を培う。(2) 多面的な観察能力を養

う。(3) 多様な解の存在を認識する。(4) プレゼンテーション能力を涵養する。「造形演習」の4つの課題のひとつひとつには、限られた時間のなかで精一杯にチャレンジし、満足するまで成し遂げることが求められている。頭脳と手とを連動させ、「手を動かし、汗をかき、想いをめぐらし、創る」まさに「手汗想創」を体感する。

[授業計画・授業内容]

1. 全体ガイダンスおよびクラス分け
2. 第1課題:「鉛筆による精密描写」
3. 第1課題の演習
4. 第1課題の講評
5. 第2課題:「展開図に基づいた立体物の描写」
6. 第2課題の演習
7. 第2課題の講評
8. 中間発表会
9. 第3課題:「卓上ランプシェードの制作」
10. 第3課題の演習
11. 第3課題の講評
12. 第4課題:「飛行体の造形」
13. 第4課題の演習
14. 第4課題の講評
15. 展示会

[キーワード] 観察・思索, デザイン, 手汗想創, プレゼンテーション

[教科書・参考書] 特にありません。

[評価方法・基準] 成績評価は、出席状況、作品・プレゼンテーションの状況に基づいて行います。

[関連科目] 特にありません。

[履修要件] 特にありません。

[備考] 特にありません。



授業科目名：造形演習  
 科目英訳名：Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官：玉垣 庸一  
 単位数：2.0 単位  
 授業コード：TY016003

開講時限等：1 年前期火曜 5 限  
 講義室：工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度 1997 年
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)								
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気電子系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)							
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TI:物質 A			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 化学物質化学			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 機能物質機能			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI3:物質 A 物性物質物性			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					
TJ1:都市環境 環境				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TK2:先進フロントティア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択 (E30)							
TL:メディカルシステム A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TM:共生応用化 A	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM1:共生応用化 A 生体関連コース 生体関連	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM2:共生応用化 A 応用化学コース 応用化学	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM3:共生応用化 A 環境調和コース 環境調和	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								

[授業の方法]

[目的・目標] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教員の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

TY016004

授業科目名： 造形演習  
 科目英訳名： Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官： 福川 裕一  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： TY016004

開講時限等： 1 年前期火曜 5 限  
 講義室： 工 17 号棟 212 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修(E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザ			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)								
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気電子系	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)							
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修(E20)							
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修(E20)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修(E20)							
TI:物質 A			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)		
TI1:物質 A 化学物質化学			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)				
TI2:物質 A 機能物質機能			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)				
TI3:物質 A 物性物質物性			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)					
TJ1:都市環境 環境				専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア				専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TK2:先進フロンティア	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択(E30)							
TL:メディカルシステム A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TM:共生応用化 A	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM1:共生応用化 A 生体関連コース 生体関連	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM2:共生応用化 A 応用化学コース 応用化学	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM3:共生応用化 A 環境調和コース 環境調和	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								

[授業の方法]

[目的・目標] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教員の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

授業科目名：造形演習  
 科目英訳名：Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官：釜池 光夫, 長尾 徹  
 単位数：2.0 単位  
 授業コード：TY016005

開講時限等：1 年前期火曜 5 限  
 講義室：工 17 号棟 213 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度 1997 年
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年		
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF2:デザイン A インダストリアルデザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)		
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)								
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気電子系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)							
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修 (E20)							
TI:物質 A			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 化学物質化学			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 機能物質機能			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI3:物質 A 物性物質物性			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					
TJ1:都市環境 環境				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TK2:先進フロントティア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択 (E30)							
TL:メディカルシステム A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TM:共生応用化 A	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM1:共生応用化 A 生体関連コース 生体関連	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM2:共生応用化 A 応用化学コース 応用化学	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								
TM3:共生応用化 A 環境調和コース 環境調和	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)								

[授業の方法]

[目的・目標] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教員の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

TY016006

授業科目名： 造形演習  
 科目英訳名： Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官： 瀧 徹  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： TY016006

開講時限等： 1 年前期火曜 5 限  
 講義室： 創造工学センター

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度
	2005年	2004年	2003年	2002年	2001年	2000年	1999年	1998年		
TE:都市環境	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	T1:工業意匠 A	1997年 専門基礎必修(E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)		
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修(E10)	専門基礎必修(E10)								
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気 電子系	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)							
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修(E20)							
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修(E20)							
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修(E20)							
TI:物質 A			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)		
TI1:物質 A 化学 物質化学			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)				
TI2:物質 A 機能 物質機能			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)				
TI3:物質 A 物性 物質物性			専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)	専門基礎選択(E30)					
TJ1:都市環境 環 境				専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TJ2:都市環境 メ ディア メディア				専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)		
TK2:先進フロン ティア	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択(E30)							
TL:メディカルシ ステム A	専門基礎選択必修(E20)	専門基礎選択必修(E20)								
TM:共生応用化 A	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM1:共生応用化 A 生体関連コー ス 生体関連	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM2:共生応用化 A 応用化学コー ス 応用化学	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								
TM3:共生応用化 A 環境調和コー ス 環境調和	専門選択科目(F36)	専門選択科目(F36)								

[授業の方法]

[目的・目標] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教員の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

[備考] 創造工学センターは土足厳禁、上履きを用意すること

授業科目名：造形演習  
 科目英訳名：Design Aesthetics(Lab.)  
 担当教官：中山 茂樹  
 単位数：2.0 単位  
 授業コード：TY016007

開講時限等：1 年前期火曜 5 限  
 講義室：工 17 号棟 211 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度								学科 コース	入学年度 1997 年	
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年	1998 年			
TE:都市環境	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	T1:工業意匠 A	専門基礎必修 (E10)
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF2:デザイン A インダストリアルデザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF4:デザイン A 建築	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)			
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)									
TG:電子機械 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TG4:電子機械 A 機械系 機械系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TG5:電子機械 A 電気電子系 電気電子系	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TH:情報画像 A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)								
TH1:情報画像 A 情報工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TH3:情報画像 A 画像材料工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TH4:情報画像 A 画像システム工学			専門基礎選択必修 (E20)								
TI:物質 A			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)		
TI1:物質 A 化学物質化学			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)				
TI2:物質 A 機能物質機能			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)					
TI3:物質 A 物性物質物性			専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)	専門基礎選択 (E30)						
TJ1:都市環境 環境				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TJ2:都市環境 メディア メディア				専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)		
TK2:先進フロントティア	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択 (E30)								
TL:メディカルシステム A	専門基礎選択必修 (E20)	専門基礎選択必修 (E20)									
TM:共生応用化 A	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM1:共生応用化 A 生体関連コース 生体関連	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM2:共生応用化 A 応用化学コース 応用化学	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									
TM3:共生応用化 A 環境調和コース 環境調和	専門選択科目 (F36)	専門選択科目 (F36)									

[授業の方法]

[目的・目標] 工学的手段による問題意識の結果が形となって現われる場合、よいまとまりを意識して形造りを行うか、意識せずに形造りを行うかでは結果に大きな開きが生じる。よいまとまりを示す形とは何かを演習を通じて修得する。具体的には、演習計画に示す各項目を各担当教員の専門領域の立場から課題を設定し、演習を行う。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

TF206001

授業科目名：デザイン造形実習 II  
 科目英訳名：Practicum in design fundamentals II  
 担当教官：堀田 明博, 久保 光徳, 小野 健太, 樋口 孝之, 原 寛道  
 単位数：1.5 単位  
 開講時等：1 年前期水曜 3 限 / 1 年前期水曜 4 限前半  
 授業コード：TF206001, TF206002  
 講義室：工 2 - 工房, 工 2-第一製図室, 工 2 - 工房,  
 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)					
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)						

[授業の方法] 実習

[受入人数] 80 人

[受講対象] デザイン工学科意匠系 1 年生

[授業概要] 平面図を基にした立体構成、平面と曲面を持った立体物の作成、単純な機能を有する生活用品のデザインを行う。

[目的・目標] デザインにおける立体造形力の基礎となるモデリング技術、立体構成力を身につけること、また、材料特性を理解することを目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. 授業の説明、立体構成：平面から立体物を構成する
2. 同上
3. 同上
4. 同上
5. 講評
6. 立体構成：三つの化粧品ボトルのデザイン
7. 同上
8. 同上
9. 同上
10. 講評
11. 造形と材料特性：段ボールによるスツールのデザイン
12. 同上
13. 同上
14. 同上
15. 講評

[キーワード] モデリング、立体構成

[教科書・参考書] 清水吉治著：モデリングテクニック (第 9 刷), グラフィック社, 2001

[評価方法・基準] 課題提出の有無及び課題目的への達成度、出席日数

[関連科目] 「デザイン造形実習 I」

[履修要件] 必修

[備考] 「デザイン造形実習 I」と「デザイン造形実習 II」を併せて平成 16 年度まで開講されていた「基礎造形演習」の読み替え科目になる。



授業科目名：デザイン造形実習 II

科目英訳名：Practicum in design fundamentals II

担当教官：堀田 明博, 久保 光徳, 樋口 孝之, 小野 健太, 原 寛道

単位数：1.5 単位

開講時限等：1 年前期集中

授業コード：TF206003

講義室：工 2 - 工房, 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)					
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)						

[授業の方法] 実験・実技

[受入人数] 80 人

[受講対象] デザイン工学科意匠系 1 年生で担当教員より許可を受けた者のみ

[授業概要] 平面図を基にした立体構成、平面と曲面を持った立体物の作成、単純な機能を有する生活用品のデザインを行う。

[目的・目標] デザインにおける立体構成力の基礎となるモデリング技術、立体構成力を身につけること、また、材料特性を理解することを目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. 授業の説明、立体構成：平面から立体物を構成する。
2. 同上
3. 同上
4. 同上
5. 講評
6. 立体構成：平面と曲面による立体構成
7. 同上
8. 同上
9. 同上
10. 講評
11. 造形と材料特性：段ボールによるデザイン
12. 同上
13. 同上
14. 同上
15. 講評

[キーワード] モデリング、立体構成、

[教科書・参考書] 清水吉治著：モデリングテクニック（第 9 刷）、グラフィック社、2001

[評価方法・基準] 課題提出の有無及び課題目的への達成度

[関連科目] 「 」

[履修要件] 必修

[備考] この授業は担当教員より許可を受けたもののみ教務係で履修登録を行う。通常はデザイン造形実習 II (TF202001) を履修登録すること。実習場所の関係で、受講学生を 2 分し、デザイン造形実習 I とデザイン造形実習 II の課題を前期、後期に分けて行う。

授業科目名： デザイン論 II  
 科目英訳名： Theory of design II  
 担当教官： 杉山 和雄, 釜池 光夫  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： TF208001

開講時限等： 1 年後期火曜 2 限  
 講義室： 工 2 号棟 202 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年
TF1:デザイン A デザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)				
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)					

## [授業の方法] 講義

[授業概要] 製品デザインに関する人・もの・環境と産業の枠組みの基礎概念を学ぶ

[目的・目標] 製品デザインに関わる枠組み・歴史・プロセス・産業の諸要件の涵養を目指し、産業製品の計画に関わる人、製品、環境に関わる諸事象の調査開発に関する知識について理解を深める。

## [授業計画・授業内容]

1. はじめに：製品デザインの定義・講義ガイダンス
2. 製品デザイン事例（家具・家電）
3. 製品デザイン事例（交通機関・道具）
4. 製品デザインの歴史（変動系）
5. 製品デザインの歴史（製品進化論）
6. 生活とデザイン（レポート）
7. 製品開発のプロセス（コンセプト）
8. 製品開発のプロセス（アイデア・モデリング）
9. 製品開発のプロセス（プロダクション）
10. インタフェース（ハード）
11. インタフェース（ソフト）
12. 問題解決学・システム
13. 産業と製品デザイン
14. 製品デザインにおける課題と展望
15. 最終試験

[キーワード] 製品、R&D、動具、システム、製品進化、生活複雑変動系、ソリューション

[教科書・参考書] 授業開始時に指示する

[評価方法・基準] 出席（毎回出席をチェックする）：30%；レポート課題：30%；試験：40%

[関連科目] デザイン論 I、デザイン論 III、デザイン科学 I、デザイン科学 II

授業科目名： デザイン表示実習 I

科目英訳名： Practicum in presentation methode I

担当教官： 渡邊 誠, 小野 健太, 八馬 智

単位数： 1.5 単位

開講時限等: 1 年後期火曜 3 限 / 1 年後期火曜 4 限前半

授業コード： TF203001, TF203002

講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

[授業の方法] 実習

[受入人数] 80

[受講対象] デザイン工学科意匠系 1 年生

[授業概要] 工業デザイン・トランスポーターデザイン・人間環境デザイン・視覚伝達デザインに共通した、基礎的な立体表現と効果的な視覚表現の方法について修得する。

[目的・目標] デザインにおける表示は、いわゆる一般的な絵の表現方法とは異なったものである。本実習は、このデザインにおける必要な表示方法を習得する。

[授業計画・授業内容]

1. 導入・基礎技法取得 オリエンテーション
2. 空間の把握
3. 基礎的な空間表現・一点 / 二点透視図とその表現
4. 基礎的な空間表現・一点 / 二点透視図とその表現
5. 基礎的な空間表現・俯瞰・鳥瞰とその表現
6. 屋外空間の人工物表現
7. 室内空間の人工物表現
8. 様々な基礎形態
9. 基礎形態の表現
10. 基礎形態の質感表現
11. 基礎形態におけるハイライトとリフレクション
12. 線画によるスケッチ
13. グレースケールによるスケッチ
14. カラーケースによるスケッチ
15. スケッチにおけるキャプション表現

[キーワード] デザイン, 表示, 表現,

[教科書・参考書] 別途指示

[評価方法・基準] 課題提出

[関連科目] 「デザイン表示実習 II」

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「製品デザイン表示論演習 I」の読み替え科目である。

授業科目名： デザイン実習 II

科目英訳名： Design practice II

担当教官： 佐藤 公信, 原 寛道, 樋口 孝之

単位数： 1.5 単位

授業コード： TF205001, TF205002

開講時限等： 1 年後期火曜 4 限後半 / 1 年後期火曜 5 限

講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

[授業の方法] 講義・実習

[受入人数] 80 名まで

[授業概要] 人工物デザインでは、基盤となる科学的理解と応用としての実践的理解が求められる。本授業科目では、デザイン実習 I に引き続き、デザインの科学的方法とそれに対応したデザインの実践に関する基礎的な実習を行う。授業では、人体計測と環境デザイン、認知科学と展示計画、色彩心理学とグラフィックデザインの 3 課題を、各々 5 週間ずつ設ける。

[目的・目標] 人工物デザインの基盤としての科学的方法の役割と、それが実際のデザインにおいてどのように反映されるかについての基礎的な理解を求める。

[授業計画・授業内容]

1. 人体計測と環境デザイン：人体計測実習 (1)
2. 人体計測と環境デザイン：人体計測実習 (2)
3. 人体計測と環境デザイン：人体計測実習 (3)
4. 人体計測と環境デザイン：環境デザイン実習 (1)
5. 人体計測と環境デザイン：環境デザイン実習 (2)
6. 認知科学と展示計画：認知科学実習 (1)
7. 認知科学と展示計画：認知科学実習 (2)
8. 認知科学と展示計画：認知科学実習 (3)
9. 認知科学と展示計画：展示計画実習 (1)
10. 認知科学と展示計画：展示計画実習 (2)
11. 色彩心理学とグラフィックデザイン：色彩心理学実習 (1)
12. 色彩心理学とグラフィックデザイン：色彩心理学実習 (2)
13. 色彩心理学とグラフィックデザイン：色彩心理学実習 (3)
14. 色彩心理学とグラフィックデザイン：グラフィックデザイン実習 (1)
15. 色彩心理学とグラフィックデザイン：グラフィックデザイン実習 (2)

[キーワード] 人体計測、認知科学、色彩心理学、環境デザイン、展示計画、グラフィックデザイン

[教科書・参考書] 授業時に必要に応じて指示する

[評価方法・基準] レポートおよびデザイン成果によって評価する。出席状況、出席態度も評価する。

授業科目名： デザイン工学セミナー (意匠系)  
 科目英訳名： Seminar: Introduction to Design  
 担当教官： デ工 (意匠系) 各教官  
 単位数： 2.0 単位  
 開講時限等： 1 年後期水曜 1 限  
 授業コード： TF002002  
 講義室： 工 2 号棟 102 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)
TF5:デザイン A 意匠	専門基礎必修 (E10)	専門基礎必修 (E10)					

[授業の方法] 講義・演習

[目的・目標] セミナー形式の授業を通じて各教員の教育研究内容に触れることにより、デザイン領域での研究、実践に対する基本的理解を深めて行くとともに、少人数セミナーであることを活かし、学生と教員のコミュニケーションの基盤を形成することを目標とする。

[授業計画・授業内容] 各教員は配分されたグループ (3 ~ 4 名の学生) を全期間にわたって受け持ち、セミナー形式の授業を行う。全体のプロデューサ役は学年担任が務める。授業形態は、各教員が定めた課題についての実験、実習、調査ならびに考察、結果のまとめ・日々の生活体験や市場調査、現地調査にもとづく問題の発掘、ならびに解決に向けたデザイン提案・工場、施設などの見学を通じ、デザイン現場における生産、技術についてレポートなど、教員により様々な展開が考えられるが、その目指す方向は同じである。すなわち受講生は、デザイン工学科意匠系における勉学の方式や態度、問題意識や関心の持ち方などについて、きめ細かい教育、指導のもと、教員と一体となって思考し、今後の学生生活の展望を得よう努めなければならない。各グループ単位での少人数授業が原則であるが、グループどうしが合流した全体討論や見学会など、担当教員が所属する分野単位での授業形態が適宜取り入れられることもある。また、授業形態によっては時間割外の時間に行うことがある。

[評価方法・基準] 課題、レポートおよび討論により成績評価を行う。

[備考] 第一回目の授業でグループを決定する。第二回目以降の授業時間帯については、担当教員と受講生で相談の上、その都度決定する。

授業科目名： デザイン科学 I  
 科目英訳名： Design Science I  
 担当教官： 堀田 明博, 青木 弘行  
 単位数： 2.0 単位  
 開講時限等： 1 年後期水曜 3 限  
 授業コード： TF210001  
 講義室： 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度					
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)	専門選択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)				
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)					

[授業の方法] 講義

[受入人数] 75 人

[受講対象] デザイン工学科意匠系 1 年生

[授業概要] デザインによって生起する人間行動の特性とその観察等の方法、デザインへの応用とについて論述する。また、デザインされた人工物の物理特性や材料生産技術、感性的な特性等について論述する。

[目的・目標] デザインの対象である人工物と人間行動との関係に対する基本的知識を学習する。人間行動に関しては、観察、計測、分析、評価法等の理解とデザインへの応用能力を育成する。人工物に関しては、人工物の物理的特性、生産方法、感性評価等に関する理解とデザインへの応用能力を育成することを目的とする。

[授業計画・授業内容]

1. デザインの対象としての生活環境の捉え方。人間行動システムと生活環境システム
2. 人間行動の捉え方。ユーザ特性とユーザ要求
3. 人間行動の観察・計測・評価
4. 人間行動のタイプ化とデザイン条件
5. 人間行動の特性とスペーシング
6. 人体寸法と設計寸法
7. 人間行動と設計条件
8. デザインの対象としての人工物の捉え方。固有特性と属性
9. 人工物の形態と製造条件
10. 人工物の経済的特性
11. 人工物と環境問題
12. 人工物の感性・感覚的特性
13. 人工物の物理・化学的特性
14. 先端技術と人工物開発
15. テスト

[キーワード] 人間行動、人工物、観察、計測、感覚的特性、先端技術

[教科書・参考書] 授業時に指示する。

[評価方法・基準] 出席数、レポートの提出の内容、テストによる授業の理解度

[関連科目] デザイン論 I, デザイン論 II、デザイン論 III、デザイン科学 II,

[履修要件] 必修

[備考] 平成 15 年度まで開講されていた「材料計画論 [TF008001]」の読み替え科目である。

TF207001

授業科目名： デザイン表示実習 II

科目英訳名： Practicum in presentation methode II

担当教官： 渡邊 誠, 小原 康裕, 八馬 智

単位数： 1.5 単位

開講時限等： 1 年後期金曜 3 限 / 1 年後期金曜 4 限前半

授業コード： TF207001, TF207002

講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門必修 (F10)	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

[授業の方法] 実習

[受入人数] 80

[受講対象] デザイン工学科意匠系

[授業概要] 工業デザイン・トランスポートデザイン・人間環境デザイン・視覚伝達デザインに共通した、基礎的な立体表現と効果的な視覚表現の方法について修得する。

[目的・目標] デザインにおける表示は、いわゆる一般的な絵の表現方法とは異なったものである。本実習は、このデザインにおける必要な表示方法を習得する。

[授業計画・授業内容]

1. シチュエーションスケッチ
2. スケッチレビュー・まとめ
3. メディアの種類と伝達方法
4. 文字による伝達
5. 文字を描く 1
6. 文字を描く 2
7. 写真・画像による伝達
8. 構図・構成 1
9. 構図・構成 2
10. 空間における人間
11. 公園・公共空間と人間
12. 商業空間
13. 商業空間と人間
14. 屋内空間
15. デザインの表示・表現と伝達

[キーワード] デザイン, 表示, 表現

[教科書・参考書] 別途指示

[評価方法・基準] 課題提出

[関連科目] 「デザイン表示実習 I」

[履修要件] 「デザイン表示実習 I」を履修のこと

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「製品デザイン表示論演習 II」の読み替え科目である。

TF209001

授業科目名 : デジタルデザイン実習 I  
 科目英訳名 : Digital Design Practice I  
 担当教官 : 佐藤 公信, 小原 康裕, 八馬 智  
 単位数 : 1.5 単位  
 授業コード : TF209001, TF209002  
 開講時限等: 1 年後期金曜 4 限後半 / 1 年後期金曜 5 限  
 講義室 : 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)					
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)						

[授業の方法] 実習

[目的・目標] コンピュータ操作技術の向上と表現技能の習得を目標とする。情報処理での内容を発展させ、表現という観点から、より実践的なオペレーションを行う。また、最終的にプレゼンテーションを行わせコンピュータを利用して総合的にデザインを表現することを学ばせる。

## [授業計画・授業内容]

1. コンピュータを用いた描画技術
2. ベジェ曲線描写の習得、演習 01
3. ベジェ曲線描写の習得、演習 02
4. オブジェクトレイアウト演習
5. フォント、文字レイアウト演習
6. コンピュータを用いた画像処理技術
7. 画像ファイルの扱いについて (画像解像度、画像フォーマット)
8. 画像加工基礎演習、色彩調整、切り抜き
9. レイヤー概念の習得、演習
10. マスクを使った描写、各種フィルタ表現の習得、演習
11. コンピュータを用いたプレゼンテーション技術
12. レイアウト演習
13. 動画、音ファイルの扱いについて
14. プレゼンテーションファイル制作演習
15. プレゼンテーション、講評

[教科書・参考書] 別途指示する。

[評価方法・基準] 実習内での制作物、目標到達度、出席などを総合的に評価する

TF212001

授業科目名： デザイン科学 II  
 科目英訳名： Design Science II  
 担当教官： 勝浦 哲夫, 日比野 治雄  
 単位数： 2.0 単位  
 授業コード： TF212001

開講時限等： 2 年前期月曜 2 限  
 講義室： 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				
TL:メディカルシ ステム A	専門選択 (F30)	専門選択 (F30)			

[授業の方法] 講義

[受入人数] 90 名程度

[受講対象] 自学部他学科生 履修可

[授業概要] デザインを行う上で欠かすことのできない人間の構造・生理・心理について、その基本的知識と応用手法を学習する。特に人間工学、心理学の観点からデザインする能力を養成する。

[目的・目標] デザインに関わる諸問題を考察する場合には、人間について十分 な知識を有することが必須条件である。そこで、人間を扱うための基礎となる 人間工学的観点および心理学的視点の涵養を目指し、その初歩から応用までを 概観する。真の意味で人間に優しいデザインを考えることのできる能力を習得 することが目標である。

[授業計画・授業内容] 人間にとって使いやすい機器をデザインするためには人間の生理的・心理的特性の理解が必要である。本授業では身体運動機能に関する人間工学及びデザイン心理学に関する入門的な内容を中心に講義を行う。

1. 人間工学とはなにか
2. 手の働きと製品デザイン



3. 製品人間工学の事例 ( 1 )
4. 製品人間工学の事例 ( 2 )
5. 筋の構造と筋収縮 ( 1 )
6. 筋の構造と筋収縮 ( 2 )
7. 筋活動の測定と評価
8. 中間試験
9. 心理学の視点からデザインを考える - デザイン心理学とは
10. 人間の知覚特性
11. 視知覚に関わる問題 ( 1 )
12. 視知覚に関わる問題 ( 2 )
13. 視知覚以外の知覚に関わる問題
14. デザイン心理学の応用的側面・まとめ
15. 期末試験

[キーワード] 人間, 人間工学, 身体構造, 生理機能, 心理学, 知覚

[教科書・参考書] 授業開始時に指示する

[評価方法・基準] 出席 ( 毎回出席をチェックする ): 30 % ; 試験 : 70 %

[関連科目] ヒューマンインタフェース論, 環境人間工学, 生理人類学, 人間 工学演習, 色と形の心理学, 人間行動の心理学

[履修要件] 特になし

TF215001

授業科目名 : トランスポーターデザイン I  
 科目英訳名 : Transportation Design I  
 担当教官 : 青木 護, 釜池 光夫  
 単位数 : 3.0 単位  
 開講時限等: 2 年前期月曜 4 限後半 / 2 年前期月曜 5 限  
 授業コード : TF215001, TF215002  
 講義室 : 工 1-401 ( デザイン実習室 )

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[受入人数] 30 人

[受講対象] 自学部他学科生 履修可

[授業概要] 交通機器に係わるトランスポーター機器、特に自動車の造形演習を通してデザインの基礎・プロセスを学ぶ。

[目的・目標] 以下のプロセスを通してデザインの基礎・プロセスを学び動機づけを行う。1) スケッチ・レンダリング技法の基礎と習熟 2) 造形モチーフからアイディアの発想・展開 3) コンセプトとアイディア展開 4) モデリングプロセスの基礎 5) プレゼンテーション

[授業計画・授業内容] デザインの基礎技法 ( スケッチ・レンダリング・モデリング ) とプロセスの演習を通して、トランスポーターデザイン動機付けを行う。毎回演習の宿題により予習

1. 自動車の実車を鉛筆で写生描画
2. 雑誌・写真の自動車を模写
3. 自動車の基礎的表示技法・図法の講義
4. 雑誌・写真の自動車を模写
5. 造形モチーフをベースとするアイディアの集中展開
6. 同上
7. 選択した造形モチーフによる自動車のアイディアスケッチ
8. アイディアスケッチの方向付け
9. ケッチのPCソフトによる修正・色づけなどの基礎技法
10. 同上
11. スケッチのレンダリング
12. レンダリングの縮尺外形製図 (1/10)
13. 発砲素材によるモデリング
14. 夏休みを利用したモデリング
15. 発砲素材によるモデリング
16. 合同評価会 (プレゼンテーション)

[キーワード] 基礎自動車デザイン、モチーフとスタイル、デザインプロセス

[教科書・参考書] 自動車表示図法 (小冊子) 参考スケッチ・レンダリング

[評価方法・基準] 出席率 (8割) 課題スケッチモデルプレゼンテーション

[関連科目] 造形演習・表示論・基礎デザイン・製品デザイン論

[履修要件] プロデザイナーを目指す意欲のある学生

TF211001

授業科目名: デザイン論 III

科目英訳名: Theory of Design III

担当教官: 宮崎 紀郎, 清水 忠男

単位数: 2.0 単位

授業コード: TF211001

開講時限等: 2 年前期火曜 3 限

講義室: 工 2 号棟 202 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)			
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)				

[授業の方法] 講義

[受講対象] デザイン工学科意匠系 2 年生

[授業概要] 視覚情報によるデザインの手段と目的、生活環境デザインの目的と人間行動との関係についての基礎概念を学ぶ。

[目的・目標] 視覚伝達デザインの機能と手法、歴史、および生活環境デザインの機能、枠組み、知識、方法を学ぶ。

[授業計画・授業内容]

1. 視覚伝達デザインの領域と役割
2. マスコミュニケーション媒体の機能
3. 媒体の歴史

4. 新聞デザイン
5. 広告
6. CI(Corporate Identity)
7. まとめ
8. 生活環境とデザインのかかわり
9. 他人とのかかわり方をデザインする / 空間の仕切りとつなぎ
10. 障害のない環境づくり / ユニバーサルデザイン
11. 移動によって把握される空間 / ウエイファインディング
12. メッセージを伝達する環境 / 空間の演出
13. 環境を形成する製品のデザイン
14. 共生意識によって支えられる環境
15. まとめ

[キーワード] 視覚情報, メディア, 環境, 空間, 共生

[教科書・参考書] 授業開始時に指示する

[評価方法・基準] 出席 (毎回出席をチェックする): 30 % ; レポート課題 : 30 % ; 試験 : 40 %

[関連科目] デザイン論 I, デザイン論 II, デザイン科学 I, デザイン科学 II

[履修要件] 必修

TF216001

授業科目名 : 環境デザイン I  
 科目英訳名 : Environmental Design I  
 担当教官 : (藤本 香), (高橋 久弥), (中西 利恵), 佐藤 公信  
 単位数 : 3.0 単位  
 授業コード : TF216001, TF216002

開講時限等: 2 年前期火曜 4 限後半 / 2 年前期火曜 5 限  
 講義室 : 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 様々な環境の中で、意図する空間のイメージを実際のデザイン提案として具体化するための方法について、平面表示技法、立体表示技法あわせて演習を行う。

[目的・目標] 環境デザインを行うために必要な技法を講義・演習を通して理解し、的確な表現手法を習得する。講義では、各種技法の理論的側面を、演習では、各種図面の描き方及び透視図法の着彩技法までを体系的に学ぶ。

[授業計画・授業内容]

1. ガイドンス 環境デザインの実例
2. 作図の基本、図面の意味、展示デザインの実例紹介
3. 展示デザインの基本
4. 展示デザインの基本
5. 小さなギャラリーの計画

6. プレゼンテーション・講評
7. 住宅設計の概要/ 小課題 (1) 実測・レポート (1) 住空間について
8. 小課題 (2) 基本的な図面の描き方と設計の手順
9. 課題実習 平面計画・天井照明計画
10. 課題実習 材料と色彩の計画・家具装備計画・設備計画
11. 本課題プレゼンテーションと講評・レポート (2)
12. 店舗着彩演習・質感表現方法・空間表現方法・効果的な配色方法・添景の効果
13. エキジビション着彩演習・効果的な表現方法 (ボード作成の為の)
14. エキジビション着彩演習・効果的な表現方法 (ボード作成の為の)
15. 15 回目についてはパースのプレゼンテーション、15 回全体通してのプレゼンテーションと講評

[評価方法・基準] (記述なし)

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「環境デザイン製図演習」の読み替え科目である。

TF218001

授業科目名： 形の工学	開講時限等： 2 年前期水曜 1 限
科目英訳名： Engineering of Shape	講義室： 工 2 号棟 201 教室
担当教官： 久保 光徳	
単位数： 2.0 単位	
授業コード： TF218001	

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択 (F30)				

[授業の方法] 講義

[受入人数] 50

[受講対象] デザイン工学科意匠系 2 年次学生

[授業概要] 材料力学および構造力学の初等的な考え方・手法を用いて、モノに見られる「形と力」の関係を基盤とした“ものづくり”における工学的感覚について考えさせ、体験させることを重要視している。そのため、講義形式のみではなく適宜必要に応じて小演習を組み込んで行く。

[目的・目標] 形が有する意味とその特質を工学的な視点から理解する。形の解釈に際しては材料力学・構造力学・機構学を基盤に据え、材料力学からは基本単位形態の力学的特性、構造力学からは部分と全体の力学的関係、機構学からは動的特性との関連について理解する。

[授業計画・授業内容] 講義中心に小演習を行いながら「形と力」の関係を体得させることを目的として以下のような授業内容を計画している。

1. 形と力の関係に対する直感的導入： 長いヒモと短いヒモ； 太い柱と細い柱
2. 外力と内力： 力を伝えるものとその変形： 伸び，縮み，曲げ，せん断
3. 引張に対する形： 紙帯に対する検討： E と ； 懸垂曲線； テンション構造
4. 圧縮に耐える形： 平等強さの形
5. 座屈の形： 身近な不安定現象
6. 曲げと圧縮に耐える形： 二つのアーチ； 境界条件と形； トラスとラーメン
7. 円筒形とシェル形の形： 円筒およびシェル構造； シャボン膜構造； 膜と板
8. C A D による単純構造の作成と F E M による構造解析 1 - 紙引きバトル

9. CADによる単純構造の作成とFEMによる構造解析 2 - 紙引きバトル
10. 自然物の形と力: 枝・竹・骨の形に対する解釈
11. 人工物の形と力: ハニカムとFRP
12. 動作するモノの制作: CAD/CAE/CAMを用いた簡易構造体の制作 1
13. 動作するモノの制作: CAD/CAE/CAMを用いた簡易構造体の制作 2
14. 形に見られる力学性
15. 「まとめ」および試験もしくは制作

[キーワード] 形と力, 構造, 機構

[教科書・参考書] 授業中に紹介する。

[評価方法・基準] 複数回の小レポートと試験

[関連科目] 物理学 B 力学入門

[履修要件] 特になし。

[備考] 授業の進行に伴い, 演習色の強い内容は授業時間以外の枠で実施する。平成16年度まで開講されていた「造形力学論」の読み替え科目である。

TF217001

授業科目名: メディアデザイン I 科目英訳名: Media Design I 担当教官: 玉垣 庸一, 小原 康裕, 佐藤 公信 単位数: 3.0 単位 授業コード: TF217001, TF217002	開講時限等: 2 年前期水曜 4 限後半 / 2 年前期水曜 5 限 講義室: 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室, 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室
---	--

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 基礎的な課題制作を通じて、後のセメスターに展開される実践的な授業への動機付けを行う。

[目的・目標] 多様なメディアに携わるデザイナーとして意匠系の学生にどのような実務能力が期待されているのか、またどのような研究能力が期待されているのかを提示し、後のセメスターに展開される実践的な授業への動機付けを行うことが目標である。

[授業計画・授業内容] 第1週～第5週 色彩デザインの基礎 担当: 玉垣 第6週～第1  
1週 広告デザインの基礎 担当: 小原 第12週～第15週 音響メディアデザイン  
の基礎 担当: 佐藤

1. 課題: ハイパーテキストによるヴィジュアルライゼーション 基礎的な表色系に関する講義内容を  
図解してハイパーテキストにまとめる。
2. 基礎的な表色系に関する講義 1
3. 基礎的な表色系に関する講義 2 ハイパーテキストのアイデア展開
4. 制作
5. プレゼンテーション
6. 広告対象設定と発想の展開とそのトレーニング

7. アイデアスケッチ
8. レイアウトブラッシュアップ 中間講評
9. CF アイデア展開とコンテ制作
10. 制作
11. プレゼンテーション
12. 音響デザインの基礎知識 音の物理的特性 MIDI/Audio
13. MAX/MSP を使ったプログラミングの基礎
14. リアルタイム処理による音情報生成プログラムの作成
15. プログラムを適用した音響作品の作成、講評

[キーワード] 色彩、広告、音響、レイアウト、図解、発想法、

[教科書・参考書] 授業にて紹介

[評価方法・基準] 出席状況および課題提出

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「視覚デザイン演習」の読み替え科目である。

TF214001

授業科目名：工業デザイン I  
 科目英訳名：Technical Design I  
 担当教官：(久米 寿明)  
 単位数：3.0 単位  
 授業コード：TF214001, TF214002

開講時限等：2 年前期木曜 4 限後半 / 2 年前期木曜 5 限  
 講義室：工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F30)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 具体的な製品のデザイン演習を通じ、プロダクトデザインの実践的業務プロセス全般を習得。

[目的・目標] 工業デザイン I としてプロダクトデザイナーとしての必要な知識や表現方法の基礎を習得し、ターゲット設定やコンセプト立案といった商品性視点や実際のモノづくりにおける量産性視点でのデザイン要求も踏まえながら、プロダクトデザインの重要性や楽しさを学ぶ。

[授業計画・授業内容] 基本的に毎回課題の個人発表と意見交換を行い、プレゼンテーション能力とコミュニケーション力の向上を目指す。

1. ガイダンス 「課題テーマと事例紹介」
2. ターゲット設定 「欲しがる人、欲しがるモノ」
3. コンセプトの構築 「コンセプトの魅力」
4. アイデアスケッチ 「カタチのパフォーマンス」
5. イメージスケッチ 「カタチのアフォーダンス」
6. コンストラクション 「機能割付け・サイズ・部品レイアウト」
7. スタイリング 「モチーフ・デフォルメ」
8. レンダリング 「線の強弱、質感の表現」
9. インターフェース 「コンテンツの表現、使用性」

10. コンテキスト 「デザインの関係性 ネーミングから宣伝販促まで」
11. モック作成
12. 中間プレゼンテーション
13. リファイン・コンセプトの決定
14. リファイン・デザインの作成
15. 最終プレゼンテーション

[キーワード] 商品性、市場性、独創性、誘発、カタチ、発見

[教科書・参考書] 「デザインの生態学」 深沢直人 東京書籍「デザインのデザイン」 原研哉 岩波書店

[評価方法・基準] 課題提出およびプレゼンテーション

TF213001

授業科目名： デジタルデザイン実習 II  
 科目英訳名： Digital Design Practice II  
 担当教官： 佐藤 公信, 小原 康裕, 下村 義弘, 小野 健太, 八馬 智  
 単位数： 1.5 単位  
 開講時等： 2 年前期金曜 3 限 / 2 年前期金曜 4 限前半  
 授業コード： TF213001, TF213002  
 講義室： 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門必修 (F10)	専門必修 (F10)					
TK2:先進フロン ティア	専門必修 (F10)						

[授業の方法] 実習

[目的・目標] コンピュータのソフトウェアに関わる基本的技能の習得を目標とする。情報処理での内容を発展させ、プログラミングの概念の導入から実践までを、Web ページデザイン (ネットワーク系) とスプレッドシートマクロ言語 (スタンドアロン系) の両面から行う。

[授業計画・授業内容] Web ページデザインでは GoAlive を例として用い、与えられたテーマに基づいてページを制作してプレゼンテーションまでを行う。マクロ言語では、例として Excel と VBA を用い、Visual Basic とオブジェクト指向プログラミングの基礎を与えられた課題に沿って実習する。それぞれの授業は半独立して実施する。

[評価方法・基準] 制作した Web ページの完成度とプログラムの動作状況から評価する。

授業科目名： デザイン文化論

〔学部・放送大学開放科目〕

科目英訳名： Culture Theory of Design

担当教官： 宮崎 清

単位数： 2.0 単位

開講時限等： 2 年後期月曜 2 限

授業コード： TF225001

講義室： 工 2 号棟 201 教室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)					
TK2:先進フロン ティア	専門選 択 (F30)						

[授業の方法] 講義

[受講対象] 自学部他学科生 履修可

[授業概要] デザインが人類社会の生活文化形成に果たしてきた諸相を、歴史的ならびに国内外の具体的事例に基づきながら検討する。また、今日的な具体的課題と連動させながら、デザイン実践のなかで堅持していくべき生活文化創生の理念・哲学について考察する。

[目的・目標] デザインに携わる者には、生活の「あるべき姿」をいかに描くかがきわめて重要である。本講義においては、生活文化の「これまで」と「いま」の諸相の把握・解析を通して、生活の「あるべき姿」を構築するための視座の提起、ならびに、生活の「あるべき姿」の実現に向けてのデザイン活動の認識を涵養する。

[授業計画・授業内容]

1. 文化としてのデザインの今日的課題～「人心の華」としてのデザイン
2. 生活文化の構造～ケとハレのデザイン
3. 生活文化の構造～変容のメカニズム
4. 生活用具のデザイン～プリコラージュ
5. 生活用具のデザイン～一物全体活用
6. 生活用具のデザイン～一器多用
7. 生活用具のデザイン～資源循環
8. 地域振興とデザイン～ものづくりを通じた生き甲斐づくり
9. 地域振興とデザイン～地域の個性の多様性 I
10. 地域振興とデザイン～地域の個性の多様性 II
11. 伝統と現在・未来～伝統の普遍性
12. 伝統と現在・未来～伝統の創新
13. デザインの方法論～内発的発展に向けてのデザインサーベイ
14. 文化としてのデザインの展望
15. テスト

[キーワード] デザイン, 生活文化, 価値, 哲学

[教科書・参考書] 授業のなかで紹介します。

[評価方法・基準] 各授業ごとに小テストを実施します。出席数、レポート、小テスト、テストを総合して評価します。

[関連科目] デザイン文化計画演習

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「デザイン文化計画」の読み替え科目である。各授業ごとに小テストを実施します。「デザイン文化計画研究室」にて卒業研究を希望する学生は、必ず履修してください。



授業科目名：環境デザイン II  
 科目英訳名：Environmental Design II  
 担当教官：佐藤 公信  
 単位数：3.0 単位  
 授業コード：TF221001, TF221002

開講時限等：2 年後期月曜 4 限後半 / 2 年後期月曜 5 限  
 講義室：工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 具体的な空間、展示対象を想定し、実際の計画に即したプロセスをとりながら展示デザインを行う。

[目的・目標] 伝達・訴求機能を主目的として空間を演出するディスプレイ(展示)デザインの特性を認識し、計画上の構成要素について基本的な諸問題を考察する。また、課題を通し具体的なデザイン手法に関して造詣を深める。

[授業計画・授業内容] (記述なし)

[評価方法・基準] (記述なし)

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「環境デザイン表示論演習」の読み替え科目である。

授業科目名：トランスポーターデザイン II  
 科目英訳名：Transportation Design II  
 担当教官：釜池 光夫  
 単位数：3.0 単位  
 授業コード：TF220001, TF220002

開講時限等：2 年後期火曜 3 限 / 2 年後期火曜 4 限前半  
 講義室：工 1-401 (デザイン実習室)

## 科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択(F30)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択(F30)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・実習

[受入人数] 20 人

[受講対象] 工学部他学科生 履修可

[授業概要] 人の生活移動機器に係わる乗り物(動具)の課題を通して、人・もの・環境の総合調和技術としての実践的なデザイン技法・工程を学び社会に貢献するプロデザイナーの育成をはかる。非常勤講師として経験豊かな企業デザイナーを招き実践的指導を行う。

[目的・目標] 自動車を中心に機能部品やレイアウトを含めたコンセプトワークとデザイン展開の修得。

[授業計画・授業内容] 自動車デザインを中心に、デザインの基本的なプロセスを学ぶ。担当教員と非常勤講師の指導のもと、実践的なコンセプトとパッケージング（主要部品や乗員のレイアウト）の関係を各人のアイディアに即して学習する。

1. ガイダンス・課題説明デザイン開発の事例紹介
2. テーマの設定作品事例紹介
3. コンセプトに必要な 5 W 1 H の資料収集
4. パッケージング・レイアウト
5. パッケージング・レイアウト
6. コンセプトの設定
7. アイディアスケッチ
8. アイディアスケッチ
9. アイディアスケッチ
10. レンダリング
11. レンダリング
12. CG レンダリング
13. モデル図
14. クレーモデリング実習（メーカーにて）
15. クレーモデリング実習
16. PC スライド&モデル・パネルによるプレゼンテーション
17. プレゼンテーション合同評価会

[キーワード] パッケージング、形態と機能、コンセプト

[教科書・参考書] スケッチなど配布資料自動車の基本計画とデザイン 齊藤・山中監修 山海堂

[評価方法・基準] 各課題作品モデルコンセプトパネルプレゼンテーション

[関連科目] 製品デザイン論

[履修要件] トランスポーターデザインに興味がありプロデザイナーを目指す学生トランスポーターデザイン I

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「製品デザイン演習 II」の読み替え科目である。

TF223001

授業科目名：ヒューマンインタフェース論  
 科目英訳名：Human Interface Theory  
 担当教官：岩永 光一  
 単位数：2.0 単位  
 授業コード：TF223001  
 開講時限等：2 年後期水曜 2 限  
 講義室：工 2 号棟 201 教室

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)					
TK2:先進フロン ティア	専門選 択科目 (F30)						

[授業の方法] 講義

[受講対象] 自学部他学科生 履修可

[授業概要] 本科目では、人間と道具・システムとの界面を構成するインタフェースについて、インタフェース構成要素から見た分類とそれらの特徴を整理し、それぞれの分類における考慮すべき基本的な人間特性について解説する。

[目的・目標] ヒューマンインタフェースの成り立ち、現状、デザインにおける人間特性への配慮の重要性を理解するとともに、ヒューマンインタフェースデザインの実践に必要な基本的な知識の獲得を目指す。

[授業計画・授業内容]

1. 講義の概要と目的
2. ヒューマンインタフェースの成り立ち：人間要素と人工物要素
3. ヒューマンインタフェースの分類と特徴
4. ヒューマンインタフェースにおいて考慮すべき人間特性（1）：視覚・聴覚
5. ヒューマンインタフェースにおいて考慮すべき人間特性（2）：体性感覚・その他感覚
6. ヒューマンインタフェースにおいて考慮すべき人間特性（3）：動作特性
7. ヒューマンインタフェースにおいて考慮すべき人間特性（4）：知覚と認知・判断
8. 中間試験
9. 入力装置のヒューマンインタフェース（1）
10. 入力装置のヒューマンインタフェース（2）
11. 情報提示装置のヒューマンインタフェース（1）
12. 情報提示装置のヒューマンインタフェース（2）
13. グラフィカルユーザインタフェース
14. 福祉機器のヒューマンインタフェース
15. 期末試験

[キーワード] ヒューマンインタフェース, 人間特性, デザイン

[教科書・参考書] 授業中に指示する。

[評価方法・基準] 中間試験および期末試験の成績により、設定した水準の修得が認められること。

[関連科目] デザイン科学 II

TF224001

授業科目名： デザイン材料 科目英訳名： Design Material 担当教官： 青木 弘行, 寺内 文雄 単位数： 2.0 単位 授業コード： TF224001	開講時限等： 2 年後期水曜 3 限 講義室： 工 2 号棟 201 教室
---	--

科目区分表

学科 コース	入学年度						
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年	2000 年	1999 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)	専門選 択科目 (F30)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)					
TK2:先進フロン ティア	専門選 択科目 (F30)						

[授業の方法]

[授業概要] デザインと技術開発との関連を基盤に据え、各種デザイン材料に要求される内容を体系的に理解する。また、材料計画の視点に立脚して感性情報処理に関する内容を検討する。

[目的・目標] デザイン材料に関する基礎的な素養を身につける。

[授業計画・授業内容]

1. プラスチック材料
2. プラスチック材料
3. プラスチック材料
4. プラスチック材料
5. 金属材料
6. 金属材料
7. セラミック材料
8. 木質材料
9. 木質材料
10. 先端材料
11. 感性情報処理
12. 感性情報処理
13. 感性情報処理
14. 材料開発、材料関連技術の動向と方向性
15. テスト

[教科書・参考書] 授業開始時に指示する

[評価方法・基準] (記述なし)

[関連科目] デザイン科学 I

[備考] 出席、レポート、試験など

TF222001

授業科目名：メディアデザイン II  
 科目英訳名：Media Design II  
 担当教官：宮崎 紀郎, (木村 博之), (大橋 透)  
 単位数：3.0 単位  
 授業コード：TF222001, TF222002  
 開講時限等：2 年後期水曜 4 限後半 / 2 年後期水曜 5 限  
 講義室：工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択 (F30)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択 (F30)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 講義・演習

[授業概要] 課題制作を通じて広告紙面 (ポスターや雑誌) やカレンダーなどの紙メディアにおいて視覚情報はどのように扱われるかを学び、関連した表現技術 (スキル) を体得する。

[目的・目標] 広告紙面 (ポスターや雑誌) やカレンダーなどの紙メディアにおいて視覚情報はどのように扱われるのかを学び、それらのメディアに適した表現技術を体得することが目標である。

[授業計画・授業内容] 第 1 週～第 5 週 インフォメーショングラフィックス 担当：木村 第 6 週～第 10 週 エディトリアルデザイン 担当：大橋 第 11 週～第 15 週 文字と画像のレイアウト 担当：宮崎

1. 課題の説明
2. テーマの確定とアイデアスケッチ
3. アイデアの比較検討と絞り込み作業

4. 制作
5. 発表と講評
6. 課題の説明
7. 事例紹介
8. 企画制作 コンセプトメイキングとアイデアスケッチ
9. 制作
10. 発表と講評
11. 課題の説明
12. 内容の決定
13. レイアウト案の検討
14. 制作
15. 発表と講評

[キーワード] インフォメーショングラフィックス、エディトリアルデザイン、レイアウト

[教科書・参考書] 授業にて紹介

[評価方法・基準] 出席状況および課題提出

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「メディアデザイン演習 I」の読み替え科目である。

TF219001

授業科目名：工業デザイン II  
 科目英訳名：Technical Design II  
 担当教官：渡邊 誠, (大木 雅之), (池田 稔), (須曾 公士), (大澤 隆男)  
 単位数：3.0 単位  
 授業コード：TF219001, TF219002  
 開講時限等：2 年後期木曜 4 限後半 / 2 年後期木曜 5 限  
 講義室：工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室,  
 工 2-アトリエ (2-601), 工 2-第一製図室

科目区分表

学科 コース	入学年度				
	2005 年	2004 年	2003 年	2002 年	2001 年
TF1:デザイン A デザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択必修 (F20)
TF2:デザイン A インダストリアル デザ			専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)
TF3:デザイン A メディアデザイン			専門選 択科目 (F36)	専門選 択科目 (F36)	専門選 択必修 (F20)
TF5:デザイン A 意匠	専門選 択必修 (F20)	専門選 択必修 (F20)			
TK2:先進フロン ティア	専門選 択必修 (F20)				

[授業の方法] 演習

[受入人数] 40

[目的・目標] 工業デザイン II はスタイリングに特化した演習であり、新しく考えた機能や性能あるいは様々な特徴を確実に形として成り立たせ、かつ美しく整ったデザインを行う。さらに、このデザインの機能評価を行い、デザインコンセプトとの達成度について評価する。

[授業計画・授業内容]

1. ガイダンス
2. デザインコンセプト
3. シェイプコンセプト
4. 機構・構造把握とデザイン展開 1
5. 機構・構造把握とデザイン展開 2
6. 見学会
7. シェイプチューニング 1

8. シェイプチューニング 2
9. レンダリング
10. モデリング
11. 機能評価 1
12. 機能評価 2
13. 機能評価 3
14. プレゼンテーション準備
15. 最終プレゼンテーション

[キーワード] 工業デザイン, スタイリング, 機能評価

[教科書・参考書] なし

[評価方法・基準] 最終プレゼンテーションで評価

[関連科目] 工業デザイン I

[備考] 平成 16 年度まで開講されていた「製品デザイン演習 I」の読み替え科目である。